



さすてな☆ オニバス^{さと}里親^{おや} プロジェクト

ちいき しぜん まな だれ しぜんさいせい
地域の自然を学び、誰もが自然再生に
とく あたらし
取り組める新しいプロジェクト

「オニバス」「ミズアオイ」ってなあに？

「オニバス」は大きな葉が特徴の水生植物(1年草)で、茎や葉に棘があることから、「オニバス」と名付けられました。

「ミズアオイ」は、青紫色の美しい花を咲かせる水生植物(1年草)で、万葉集の中では「水葱(なぎ)」と呼ばれ、求愛の詩に登場するなど、古くから人々に親しまれてきました。

その「オニバス」と「ミズアオイ」ですが、さすてな京都周辺の地名に残る「巨椋池」や「横大路沼」で、少なくとも80年ほど前までは、見ることができました。京都府のレッドデータブックでは「絶滅寸前種」に指定されています。



オニバス



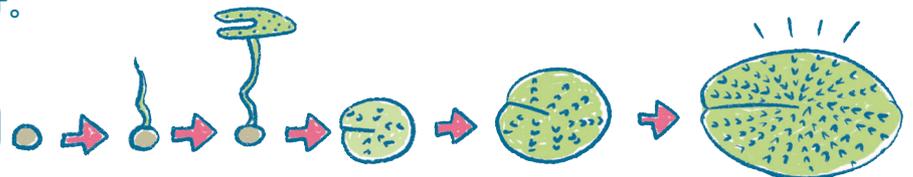
ミズアオイ

「オニバス里親プロジェクト」とは？

「さすてな京都」の周辺にかつてあった横大路沼や巨椋池に自生し、現在は絶滅危惧種となった「オニバス」と「ミズアオイ」ですが、横大路沼の土の中で眠っていた種子から植物を「復活」させることができました。

このプロジェクトは、「オニバス」と「ミズアオイ」を育てる「里親」になっていただき、育てて増やした種子を「さすてな京都」に「里帰り」として届けてもらうことを通じて、地域の自然を学び、自然を大切にすることを育て、京都市の自然再生へつなげる取組です。

どんなことをするの？



- ・お渡しする「オニバス」または「ミズアオイ」の種子を大切に育てましょう。
 - ・「オニバス」と「ミズアオイ」の成長記録(芽が出た、花が咲いたなど)を発信しましょう。
 - ・「オニバス」と「ミズアオイ」は、秋に果実が実り、種子を収穫することができます。
- 収穫した種子を、さすてな京都へ届けましょう。

※届けていただいた種子は、次の「オニバス里親プロジェクト」や京都市の自然再生の取組に活用させていただきます。



さすてな京都に集まろう！

- ・専門家から「オニバス」、「ミズアオイ」等の貴重な植物や、横大路地域の自然について学べたり、プロジェクトに参加
いただく皆様と情報を共有をする場として、さすてな京都にて「オニバス里親ミーティング」を定期的に開催します。
- ・1回目の「オニバス里親ミーティング」は、以前に、さすてな京都からオニバスをお渡しした「三菱自動車工業(株)京都製作所」の取組紹介をします。(令和3年5月23日に実施予定です)



専門家による、育成へのサポート

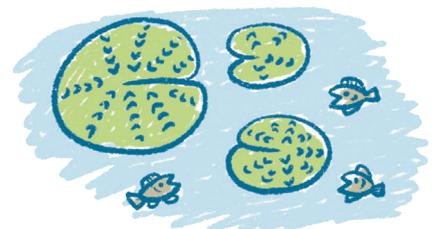
- ・さすてなビオトープで、昨年は花を咲かせた「オニバス」や「ミズアオイ」ですが、実は、育成が難しく、解明されていない事も多い植物です。お渡しする種子が、芽が出なかったり、途中で枯れてしまうかもしれませんが、その経験を含めて、希少な植物を育てる感動を分かち合いましょう。
- ・芽がでなかったり、枯れてしまったときには、事務局が代わりの苗を用意するなど、フォローします。育てている中で感じた疑問や不安は、Instagramやメールで問い合わせいただければ、専門家によるアドバイスや補助を受けることができます。
- ・種子の植付け方法や花の見ごろ、種子が実る時期、種子の収穫方法など、育て方の詳細はInstagramなどSNS上で情報発信しますので、是非ご確認ください。皆様の知恵や経験を共有し、共にプロジェクトを進めていきましょう！



みんなで共有しましょう！

【「オニバス」・「ミズアオイ」の成長記録を発信してください！】

- ・Instagram上で、ハッシュタグ「#オニバス里親プロジェクト」とつけて投稿いただくと、さすてな京都のInstagram上で共有させていただきます。
- ・Instagramを利用されていない方でも、専用メールアドレス「onibusu-kyoto@sustaina-kyoto.jp」に植物の様子を撮影した写真やコメントなどを送っていただくと、さすてな京都のInstagram上で共有させていただきます。



〈問い合わせ先〉

- ・住 所 京都市伏見区横大路八反田29番地
- ・TEL&FAX TEL 075-606-2548 FAX 075-606-2549
- ・「オニバス里親プロジェクト」専用お問い合わせメールアドレス onibusu-kyoto@sustaina-kyoto.jp
- ・受付時間 9時～17時 ※休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)

